

## 問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

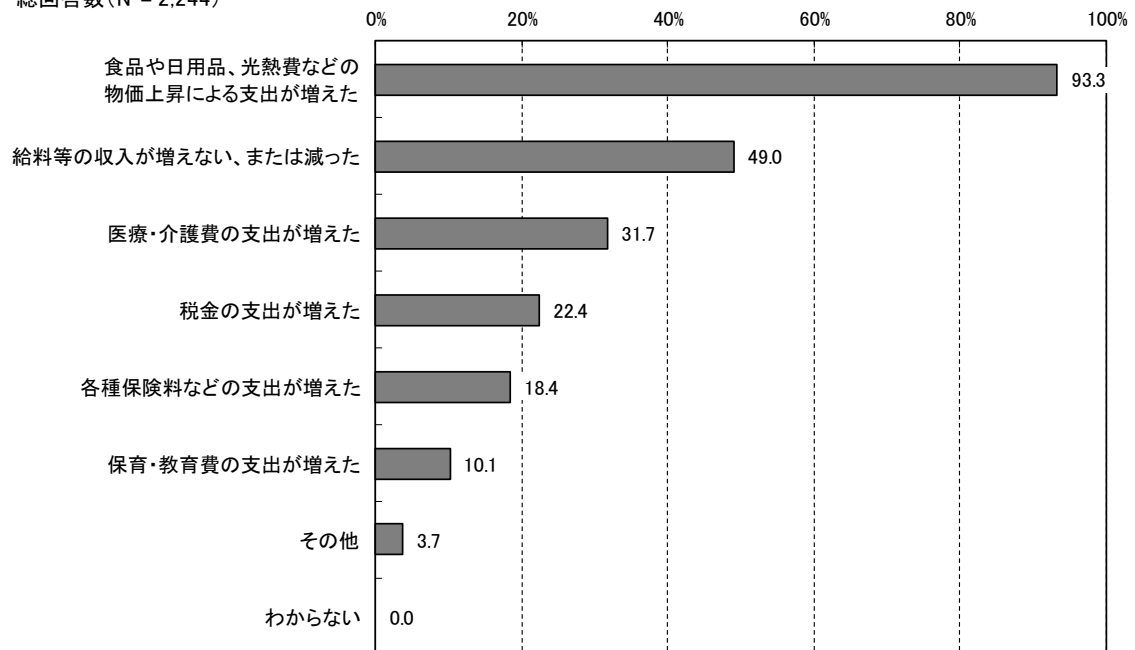
あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。  
(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が93.3%と最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」(49.0%)、「医療・介護費の支出が増えた」(31.7%)の順となっている。

図1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由

回答者数(n = 976)※

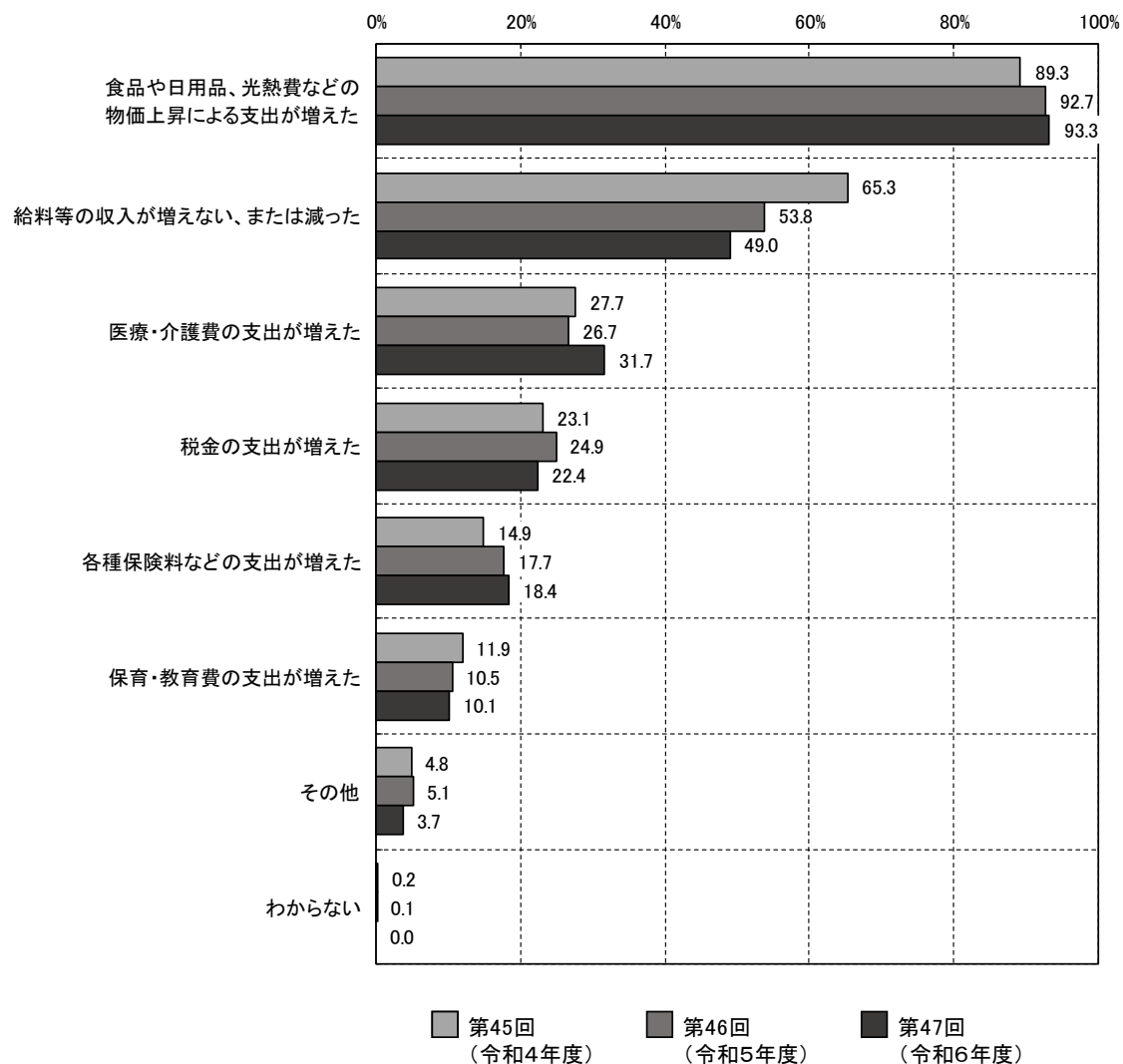
総回答数(N = 2,244)



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

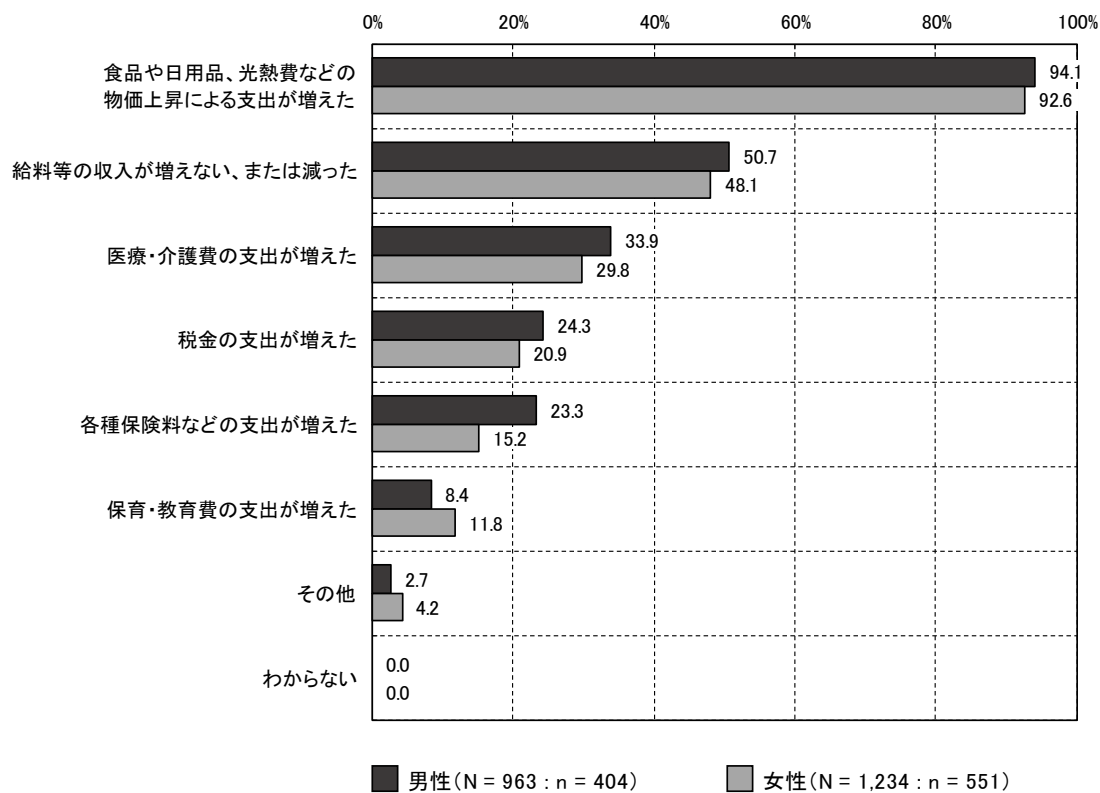
前々回・前回比較（図 1-2-2）で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が年々高くなっている。また、「医療・介護費の支出が増えた」は、前回に比べて5.0ポイント増加している。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）で見ると、男女ともに「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、男性が 94.1%、女性が 92.6%となっている。「各種保険料などの支出が増えた」では、男性が女性よりも 8.1 ポイント高くなっている。

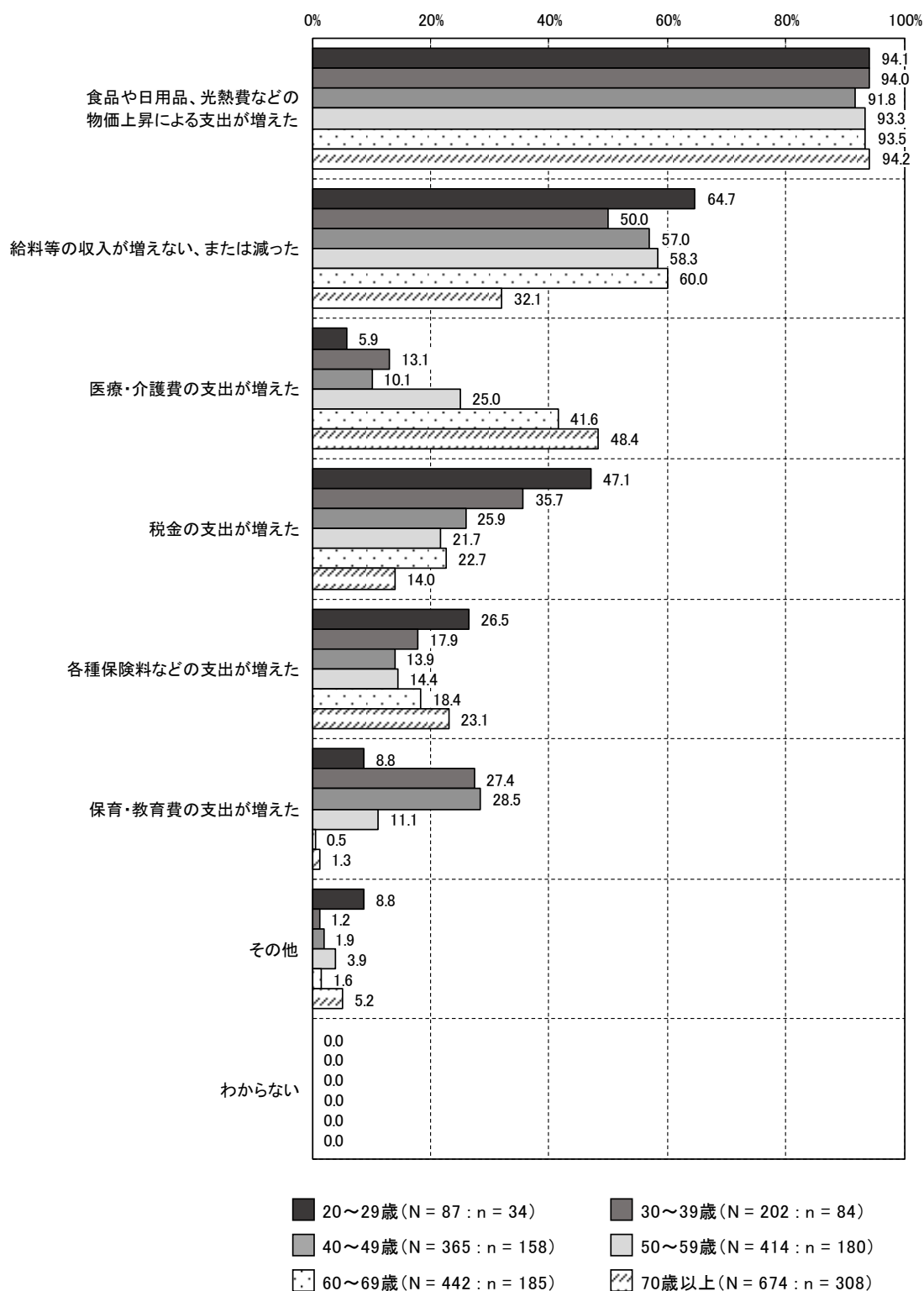
図 1-2-3 【性別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-4）で見ると、いずれの年代においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。また、20 歳代では「給料等の収入が増えない、または減った」「税金の支出が増えた」が、60 歳代、70 歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」が他の年代に比べて高くなっている。

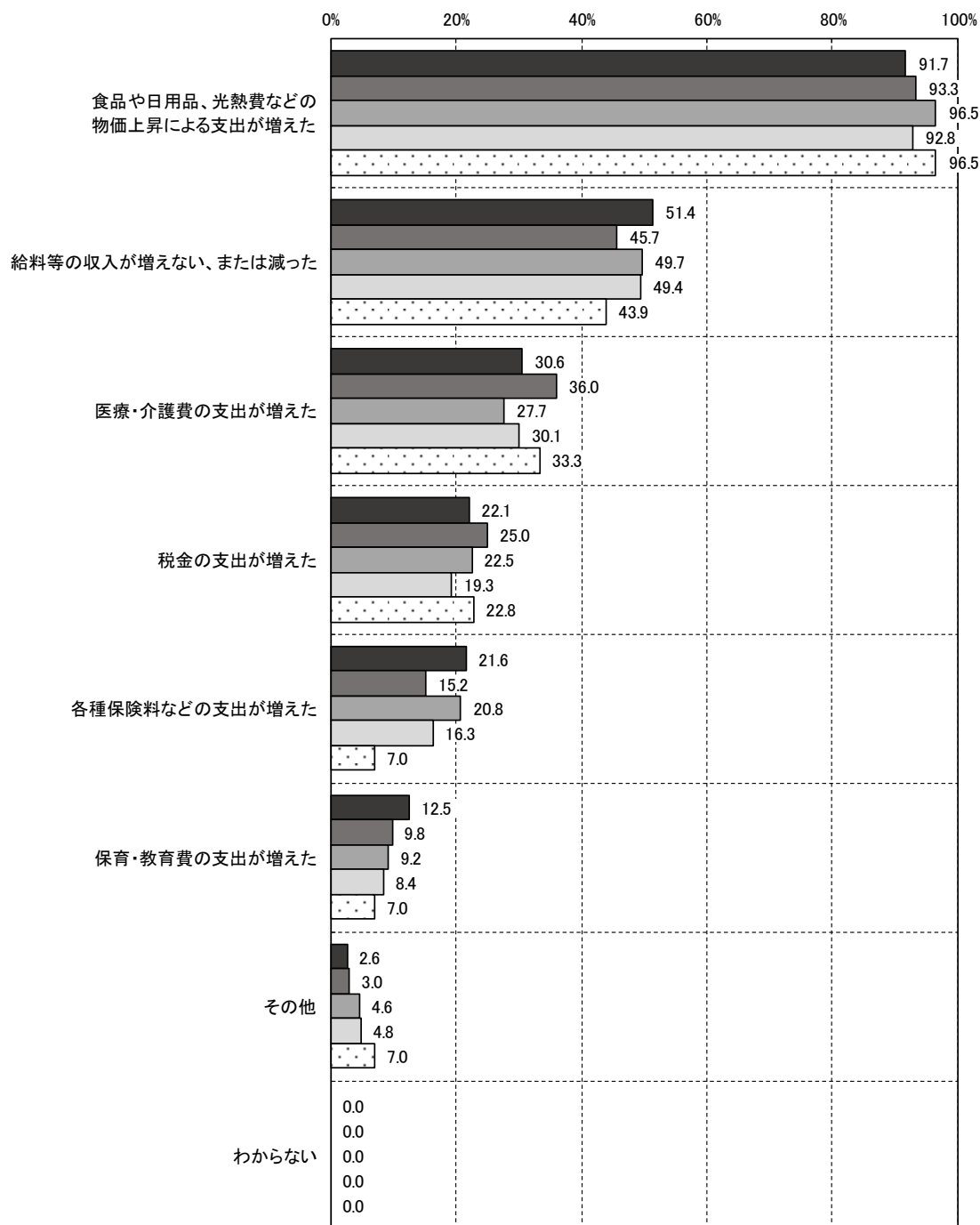
図 1-2-4 【年代別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）でみると、いずれの居住圏域においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」の順となっている。

図 1-2-5 【居住圏域別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

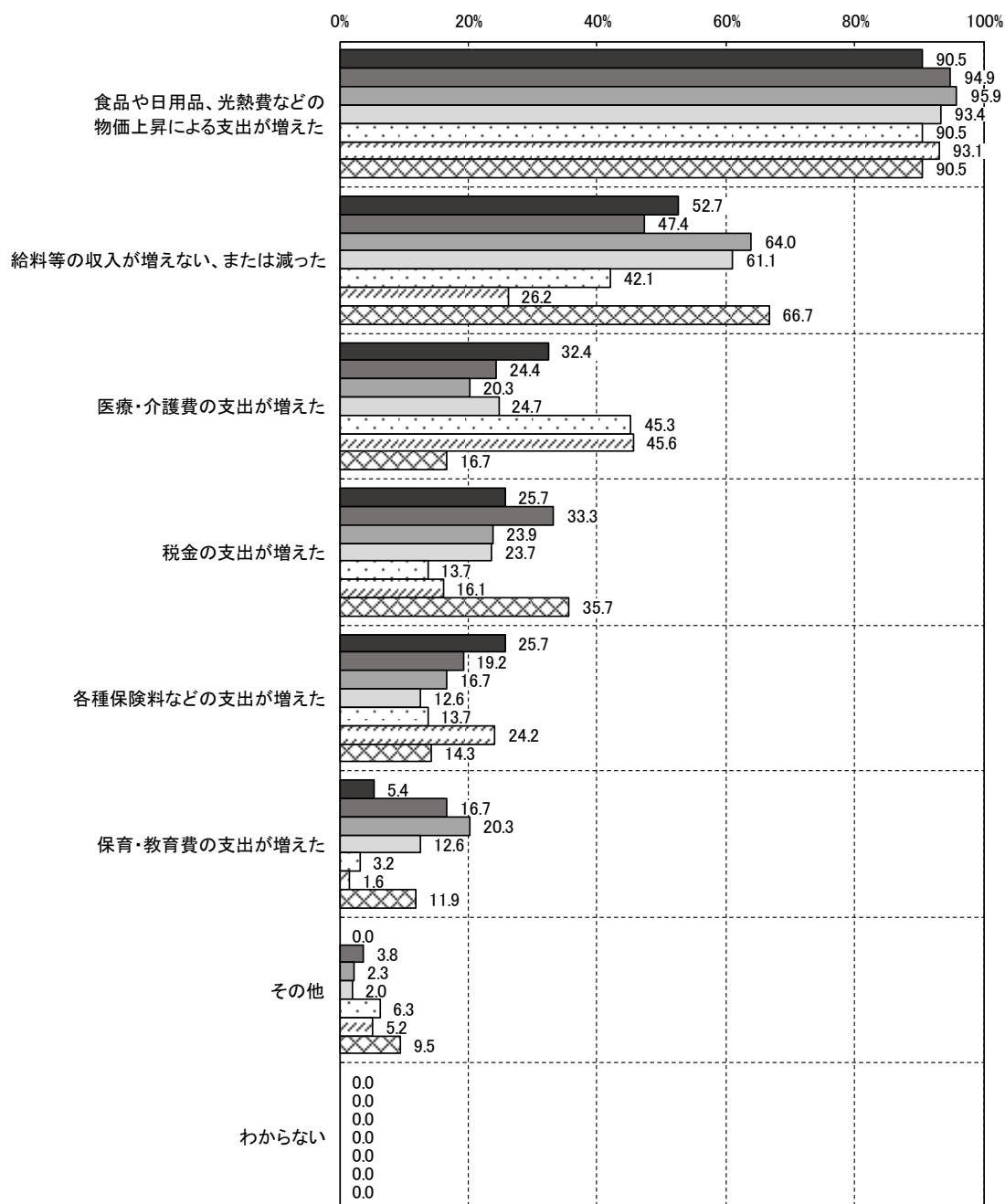


■ 岐阜圏域 (N = 903 : n = 385)      ■ 西濃圏域 (N = 375 : n = 164)  
 ■ 中濃圏域 (N = 400 : n = 173)      ■ 東濃圏域 (N = 369 : n = 166)  
 ■ 飛騨圏域 (N = 124 : n = 57)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、いずれの職業においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、その他では「給料等の収入が増えない、または減った」が他の職業に比べて高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】くらしが苦しくなったと感じる理由



- 自営業 (N = 172 : n = 74)
- 会社・団体役員 (N = 188 : n = 78)
- 正規の従業員・職員 (N = 541 : n = 222)
- パートタイム・アルバイト・派遣 (N = 462 : n = 198)
- 家事従事 (N = 206 : n = 95)
- 無職 (N = 527 : n = 248)
- その他 (N = 103 : n = 42)

※ その他には、自由業、学生を含む。  
 ※ N=総回答数 n=回答者数